

熊助組と災害

熊助組が誕生したのは2007年6月。熊助組の歴史は、そのまま九州の災害の歴史とリンクします。



2007.7

熊本県美里町豪雨災害

平成 19 年（2007）7 月 6 日明け方から 7 日昼過ぎにかけて大雨となり、熊本県南部の主な河川の分水嶺でもある美里町で 544 ミリの雨量を観測しました。住家全壊やのり面崩壊、道路不通などの被害が発生し、一部地域が一時孤立状態となりました。



2012.7

九州北部豪雨災害

平成 24 年（2012）7 月 11 日から 14 日にかけて、4 日間の総降水量は 7 月の月平均値の 150% 以上となった地点があるなど、九州北部で大雨となり、河川の氾濫、土石流が起こったことにより、人的被害、建物被害が多数発生しました。



2007

熊助組誕生

毎年災害が発生する日本で、災害復旧支援を行う団体を結成することは、土木環境工学を学んでいる自分たちにとっても有意義なことだとの思いから、有志で 6 月 25 日に組織の立ち上げを行った。地域防災セミナーへの参加や講演会の開催で学び、7 月初旬の豪雨により被害を受けた美里町にて 10 日間にわたり合計 19 名、延べ 39 名の学生が支援活動を行った。



2008

初の助成金贈呈を受ける

熊本市防災会議、土砂災害・全国統一防災訓練への参加、講演会の開催や勉強会などを行った。また、自主防災訓練の開催で、地域の課題を学んだ。大和証券助成金の贈呈を受け、贈呈式に参加。メディア等から取材を受ける。



土木環境系優秀賞授与



2009

山鹿市でのワークショップ開催

山鹿市のワークショップと避難訓練、講演会、救命講習会、また鹿児島県川内川での水防演習に参加。



2009 年
西田誠学生記念賞受賞

2010

防災を深く学ぶ

熊本県総合防災訓練への参加や毎年行われている火の国ぼうさい塾の参加、講演会、学祭でのパネル展示などを行った。

2011



2011

熊助組の活動紹介など

もっと多くの学生に活動を知ってもらい、メンバーを確保したいとの思いから、学生向けのボランティア講習会を開催。幹部学生の会議では、他県で災害が発生しても旅費や学業のことがあることから、学生では出来ることが限られるが、学生だからこそ出来ることもあるのではないかという意見も。

2012

2012

地元の復旧のために

平成 24 年 7 月九州北部豪雨の発生。11 日に災害が発生し、12 日には熊本市社協からの災害ボランティアへの参加要請を受ける。熊本市龍田地区でのボランティア活動を行い、計 43 名が参加した。メンバー増員のための会議を開くなどし、防災訓練にも継続的に参加。



2013

2014

2014

防災を学び伝える

熊本県防災訓練への参加、講習会の開催、学生向けの活動発表などを行った。





2016.4 平成28年 熊本地震発生

マグニチュード 6.5、震度 7 の地震が発生した 4 月 14 日 21 時 26 分、そこから 28 時間後の 16 日 1 時 25 分に再度マグニチュード 7.3、震度 7 の地震が熊本地方で発生しました。震度 7 の地震が同一地区で 2 回発生するのは観測史上初めてとなり、さらにその後も 6 強、5 強の余震が続きました。人的被害、建物被害も多数発生し、交通網やインフラも多くの市町村で一時的に不通になるなど大規模な被害が発生しました。



2019.7 令和元年 佐賀豪雨災害

令和元年（2020）7 月 18 日から 20 日にかけて北上してきた台風 5 号と、秋雨前線の影響により発生した線状降水帯による豪雨災害。河川氾濫、土石流やがけ崩れ、建物被害、人的被害など多くの被害が発生しました。



2020.7 令和2年 豪雨災害

令和 2 年（2020）7 月 3 日から 7 月 31 日にかけて熊本県を中心に九州や中部地方で発生した集中豪雨により、多くの被害をもたらした豪雨災害。線状降水帯が発生し、熊本県南部一帯が豪雨に見舞われて、一級河川球磨川が氾濫、多くの人的被害や建物被害に加え、インフラなど壊滅的な被害が発生しました。



2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2016

平成28年熊本地震発生 学長表彰を授賞

平成 28 年熊本地震発生。発災直後から避難所運営支援ボランティア、物資搬出入、家屋の片付け等のボランティアを行った。（累積活動日数 57 日間、累積活動人数 364 名）★8 ページに詳細あり



2018

他大学との交流・連携

熊本地震以降被災地の仮設住宅にて行っている、足湯・手芸カフェを継続して実施。8 月には香川大学、9 月と翌年の 2 月には東北大学、熊本県立大学と合同で益城町にて活動を行い、10 日間の活動でべ 59 人が参加した。



2019

雨二モマケズ

熊本地震以降行ってきた仮設住宅でのサロン活動を継続して実施。8 月に佐賀県で大雨による被害が発生し、現地での支援活動を行った。学生向けの勉強会ではマイタイムライン（事前災害行動計画）の作成や DIG（災害図上演習）などを行った。



2020

感染症、豪雨、支援

新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大により大学の講義も遠隔になる中、令和 2 年 7 月豪雨が発生。球磨川流域で甚大な被害となった。発災後、継続的に現地での土砂出し等のボランティア活動を行った。また、写真洗浄ボランティアにも継続的に参加。これらの活動が評価され、令和 2 年度学長表彰、工学部西田誠賞を受賞した。



2020 年
学長表彰

2021

引き続き豪雨災害の復旧支援

2020 年度に引き続き、令和 2 年 7 月豪雨で被害を受けた熊本県南部を中心とした復興活動及び写真洗浄を行った。復興活動の活動は坂本町ハブセンターにて炊き出しや手芸を通して地域住民との交流を行った。また、豪雨災害での活動を香川大学、名古屋青年会議所などに紹介する機会もあった。



2022

楽しく防災を学ぶ

阿蘇地区の被災地を回るツアーや、クロスロードゲームなどの開催。



2015

工学部公認サークルへ

熊本市、熊本県の防災訓練への参加や定期的な学習会の開催、防災サポーターとして講習会や訓練への参加などを



2017

地震に続いて豪雨災害も

平成 28 年に発生した熊本地震における仮設住宅でのボランティア活動や夏祭り、益城町のジョギングフェアなどのイベント運営の活動を行った。また、九州北部豪雨の災害支援として大分県日田市で活動を行った。日本防災士機構防災士功労賞を受賞。

